

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくらう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だより



2023 No. 146

2022年12月定例会

2p 12月定例会 補正予算3億5,200万円を可決 **総額47億2,400万円**

3p **常任委員会報告** 総務文教常任委員会・産業建設常任委員会・議会広報常任委員会

4~8p 一般質問 **村政を問い直す!** 4議員登壇

9p **第5回・第6回臨時会** 議会構成が変わりました。

10p・11p **議会中央要望会** 県議会議員要望活動 議会日誌(10月~12月)

12p **戸沢村建設職工組合113周年** 議会傍聴のお知らせ 編集後記 表紙の言葉

一般会計補正予算 3億5200万円を可決

令和4年
12月
定例会

12月定例会は12月7日から9日までの3日間の会期で行われた。議案は令和4年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件、条例改正9件、条例設定2件、条例廃止1件を審議し、全議案を可決した。一般質問には4人が登壇し、価格高騰下での村民に対する支援や対策、村内圃場未整備地区解消への村長の決断、第2期戸沢村まち、ひと、しごと創生総合戦略、子ども達の遊び場の現状と管理及び今後の整備計画等広範な内容により議論が交わされた。

補正予算のあらまし

今回の補正予算には、人事院勧告による人件費の調整、電気料高騰に伴う光熱費、財政調整基金等の積立元金、高齢者除雪サービス費、心身障害者福祉サービス費及びため池安全施設整備事業費などが計上されました。

今回の補正予算には、人事院勧告による人件費の調整、電気料高騰に伴う光熱費、財政調整基金等の積立元金、高齢者除雪サービス費、心身障害者福祉サービス費及びため池安全施設整備事業費などが計上されました。

歳出の主なもの

総務費

基金管理費
・ 財政調整基金元金積立 1億5000万円
財政調整基金とは、年度間の財源不足に備えるため剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用

・ 村有施設整備基金元金積立1億円
村財政の健全化を図りながら戸沢村村有施設の建設、改修等の資金の積み増しです。

民生費

高齢者除雪サービス事業 高年齢者除雪サービス事業 扶助費 400万円
心身障害者福祉サービス費 1600万円

農林水産業費
ため池安全施設整備工事 750万円
事故防止等のため予算化されました。

光熱費の増

電気料高騰に伴う光熱水費の増
役場庁舎 200万円
保育園 105万6千円
農業集落排水施設 (繰出金) 240万円
公共下水道施設 (繰出金) 290万円
中央公民館 50万5千円
戸沢学園 初等部 180万円
中等部 440万円

条例改正

○ 戸沢村議会議員及び戸沢村長選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例
選挙運動に係る経費の一部は公費で負担されます。選挙運動用の車の借入、自動車燃料代、ピラポスターの公費負担額が変更となります。

○ 戸沢村職員の勤務時間、

休暇等に関する条例の一部を改正する条例
職員の妻が出産する場合、出産後1年までの間、特別休暇の取得が認められることとなります。

○ 戸沢村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
経過措置を経て退職年齢が65歳に引き上げられます。医師においては70歳までとなります。

○ 戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国の特別職の給与に関する法律の一部改正に伴い、特別職職員の期末手当が改正されました。

○ 戸沢村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
公務員給与勧告が出されたことに伴い、給与等が改正されました。

○ 戸沢村税条例の一部を改正する条例
地方税法等の改正に伴い改正されました。個人村民税、固定資産税関係が改正されます。

○ 戸沢村特別会計条例の一部を改正する条例
簡易水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の各特別会計が企業会計への移行に伴い、3会計は廃止されます。

※ 一般会計が行政の基本的な経費、福祉・教育・土木などに要する経費であるのに対し、企業会計は独立採算による特定の事業を経理する会計です。

○ 戸沢村簡易水道事業基金条例の一部を改正する条例
簡易水道事業が企業会計に移行したため条例が改正されました。

○ 戸沢村下水道事業施設整備基金条例の一部を改正する条例
下水道事業が企業会計に移行したため条例が改正されました。

条例廃止

○ 戸沢村水道事業設置条例
水道事業の企業会計への移行に伴い、新たな設

置条例が設定されたため本条例が廃止されました。

条例設定

○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例の整備に関する条例が設定されました。

○戸沢村簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例

企業会計移行に伴い条例が整備されました。

企業会計のメリットとは

予算を超える弾力的な支出、効率的・機動的な資産管理等が可能となり、経営の自由度が向上します。経営に要する経費の的確な原価計算により、さらに適切な料金算定が可能で、住民ニーズへの迅速な対応が可能となり、経営の効率化、住民サービスの向上等につながります。

常任委員会報告

総務文教常任委員会

12月8日、受理した2件の陳情請願について総務文教常任委員会を開催し審議しました。審議結果は以下のとおりです。

◎受理番号第1号 安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出に関する陳情書
陳情要旨 安全・安心の医療・



産業建設常任委員会

12月8日、産業建設常任委員会を開催し、水田活用直接支払交付金制度の法制化を求める請願について審議しました。

政府の水田活用交付金見直しで、今後の営農や地域農業の振興に大きな影響を及ぼすほか、離農、耕作放棄の増加等農業基盤維持に支障をきたしかねず、生産者への混乱や営農断念が生じないよう求めるための請願です。

審議結果 採択
採択理由 本村は中山間地で



あり、離農、耕作放棄の増加などから、地域の農業基盤を守るため。

委員長 柿崎 英矢

議会広報常任委員会

全国町村議会議長会主催の議会広報研修会が、9月20日に都内の「シェーンバツハ・サポー」に於いて開催されました。紙面構成や編集技術の向上にむけた研修でした。読者に読んで納得して頂ける、紙面づくりを心がけていきます。

委員長 加藤 政一



◎受理番号第3号 医療を必要とする人が確実に医療を受けられる医療体制の強化を求める請願
請願要旨 新型コロナウイルス感染症の影響により入院調整が追いつかず自宅で死亡するケースが出ている。医療を必要とする人が確実に医療を受けられる体制整備を求めるための請願。
審議結果 採択
採択理由 医療を必要とする人が確実に医療を受けられる医療体制の強化を図るため。

委員長 伊藤 一



村政を問い直す!

4名の議員が一般質問

一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

- I 阿部 光樹議員**..... 5p
- ▲ 価格高騰を受け、村民に対する支援や対策は
 - ▲ 戸沢村の魅力を今まで以上、発信していくには
- II 加藤 政一議員**..... 6p
- 村内圃場未整備地区解消への村長の決断は
 - 部活動地域移行への対応と進め方は
- III 柿崎 英矢議員**..... 7p
- 第2期戸沢村まち、ひと、しごと創生総合戦略は
 - 地域おこし協力隊について
- IV 小野 宏議員**..... 8p
- ◆ 子ども達の遊び場の現状と管理、今後の整備計画は
 - ◆ 塩水坂地内の地すべりについて

一般質問



阿部光樹 議員



とざわ応援商品券

価格高騰を受け、村民に 対する支援や対策は

問 各家庭で栽培している野菜等にも肥料や資材が必要で、価格高騰が影響している。村としての考えは。

村長 村農業再生協議会で農家に向けた秋肥料の購入分への申請受付を行っています。ただし、5人以上の農業者グループ、農作物を販売している、などの条件があります。

問 燃料の価格高騰も田畑の耕しや草刈り、冬は除雪と大変影響している。村としての考えは。

村長 高い事業目標を達成することが条件の国・県の支援策があります。村内でこの事業にマッチする農家

はありません。農業用機械に使用する軽油に課税される軽油引取税は、農業委員会が交付する耕作証明書が必要で、一定の手続きも必要です。申請があれば交付します。

問 野菜等の栽培にも影響していますが、原木栽培を売りにしているキノコの菌など様々な場面で影響している。多種多様に対応や支援が必要ですが考えは。

村長 販売しない自作農家などには直接的な支援はあ

りません。村として独自の支援策を講ずるには、どの位高騰しているか客観的に判断する指標を作るのは困難で、裏付けとなる財源もない状況です。

先日発送した「とざわ応援商品券」を活用ください。

**戸沢村の魅力を含みで
以上、発信していくには**

問 教育旅行や民泊など全国的に注目されており、村でもかなりの実績を上げて

います。例えば村営の宿泊施設など足りない部分に力を入れて、戸沢村の魅力をもっと増やすべきと考えます。村としての考えは。

村長 教育旅行は平成18年度より受け入れ、今年度は過去最高8校で約1000人が体験を行っています。

田舎体験塾つのかわの里や角川地区に5軒、戸沢地区に1軒ある農家民宿などが村全体に波及していけば、誘客や周遊につながっていくと考えます。



教育旅行（田舎体験塾つのかわの里）



一般質問



加藤政一 議員

村内圃場未整備地区
解消への村長の決断は

問 これまでの同僚議員の質問に必要性を認め前向きに検討すると答弁していま

すが、村が主体的に進めて行く方向で村長の決断を求めます。



上田表地内農地(高規格道路建設予定地)

村長 村が主体的に計画を立てる事については、事業採択に向けた詳細な計画作成には多額な経費が必要です。村全体の概略的な計画を作成して、地区の皆さんに提示し、事業に取り組むかを協議していく事が必要です。たたき台となる概略的な計画は村で進めていきま

問 11月10日、11日に、古口地区の上田表の現地で高規格道路用地の確認が、関係者で実施されました。耕作放棄地の解消、鳥獣対策の観点からも農地の整備は重要です。村長の英断を求めます。

村長 基盤整備事業の採択には、それ相応の年月が必要です。村として最大限前向きにやっています。

部活動地域移行への
対応と進め方は

問 学園中等部(※1)の休日における部活動が、来

年度から民間のクラブや指導者に委ねる地域移行が段階的に始まります。村としての考えは。

教育長 「村のスポーツ環境を考える会」を立ち上げ、関係団体、保護者等の参加でスポ少や部活動の現状と課題や今後のあるべき姿について、自由に意見交換をして頂きました。

それを受けて「スポーツ環境検討委員会」を立ち上げ中等部の部活動の地域移行と具体的な姿を検討し、2月に提言としてまとめる



中等部部活動

事になっています。

また、学園の部活動再編検討委員会でも協議し、来年度からバレーボール部の休日活動を地域移行する方向に進め、手順や課題を丁寧に解決しながらやっていきたいと考えています。

問 教職員の負担軽減が逆に生徒の健康状態の把握や地域指導者との連絡調整など目に見えない負担がかかっているのではないかと対応は。

教育長 指導方針等の共有化に向け、基本的には連絡調整が学校の中で出来る役割を分担して窓口を作るのも一つの方法かと思えます。動いてみないと分からない課題もあるので一つ一つ丁寧に解決していきます。

※1 令和3年4月1日から戸沢小学校、戸沢中学校が戸沢学園となり、1～9学年となりました。初等部は1～6学年、中等部は7～9学年となりました。

一般質問



柿崎英矢 議員

第2期戸沢村まち、ひと、しごと創成総合戦略は

問 どの事業を特に重視しているのか。

村長 「第5次戸沢村総合計画」における最重要テーマのひとつである人口減少対策に位置づけた定住促進子育て環境、健康長寿の延伸等、目標に向かって取り組んでいます。

問 現在の計画では一つの課に集中しており、次回からもっとシンプルな計画にしては考えますがいかがか。

村長 今後は検討しながら絞って変えていくのもあると思います。

問 人口減少対策として完成した子育て応援住宅の改良点と村長から見た成果は。

村長 今後の見込みとして12世帯、8割の入居予定となっており、今後も継続的に募集を行っていきます。

問 この計画に施策提言するプロジェクト会議ですが、本来は様々な課題に取り組んで行くことを目標に結成された会議で、住宅建設が決まったとたんに、2年間会議が未実施で、このプロジェクト会議は、子育て応援住宅建設の為だけの会議だったのか。

副村長 まずは入居状況を考えながら、状況を見てきました。担当課とも話をし、入居状況も含め今年度中には会議を開きたいと考えています。

地域おこし協力隊について

問 地域おこし協力隊に期

待っていることは。

村長 協力隊の活動を行いながら、定住、定着を図る取り組みとなりますので、地域ブランドや地場商品の開発、販売、PR等、また定住定着していただけるよう期待しています。

問 採用時、村が求める人材とのマッチングは図られているのか。

村長 全国的に協力隊の活動において、行政側の要求と協力隊の活動内容にミスマッチが多く訴訟にまで発



協力隊の活動状況

展する事例もあると聞いています。村では問題はありませんが、今後、協力隊の導入理由を明確化することが重要と考えます。

問 任期終了後も支援が継続できる体制の構築は必要と考えます。村長の考えは。

村長 任期終了後、本人の意向もありますが、地方財政処置として終了後1年以内の起業または、事業継承に要する経費や定住する為の空き家の改修の経費があり、定住して活躍いただけよう支援をしていきます。

一般質問



小野 宏 議員

子ども達の遊び場の現状と管理、今後の整備計画は

問 児童遊園の現状は。

村長 今年度当初は、岩清水、野口、畑ケ、神田、滝ノ下、津谷、上松坂、濁沢、下松坂の9カ所に設置されています。

津谷、神田地区よりの要望で危険遊具を撤去し、また、下松坂地区からも要望があり、令和5年度には遊具のある児童厚生施設は、6カ所です。

問 危険な遊具の点検、指導、撤去等の補助はどの様に行っているのか。



安全が保たれている遊具（野口児童遊園）

村長 福祉係において、各児童厚生施設を巡回し、各

険箇所を写真で示し、地区会に案内をさせています。修繕の場合には、上限100万円として、必要経費の二分の一を補助しています。

問 保護者から、遊び場が必要ではないかと聞かされています。子育て応援住宅内に遊具設置の計画をしていますが、広い土地のある北部地区に整備を図ってはどうか、また、ぽんぽ館周辺整備をどう考えているのか。

村長 以前から議員の皆様や住民の方々から意見をいただいています。村内における公園（遊び場）整備については場所の選定、規模の大きさなど、村全体の課題と考え廃校、廃所施設と併せて中期的な計画を未来創造プロジェクト会議において協議、検討します。

ぽんぽ館周辺整備については、養豚事業計画の中で「温泉施設を拠点とした事業展開により地域産業の活性化を図っていく」とあるので、今後、ぽんぽ館周辺

事業計画など考え協議、検討します。

塩水坂地内の地すべりについて

問 地滑りで大きく崩れ、土地改良区でも悩んでいるところですか。現状を調査、確認はできているのか。

村長 平成30年の災害により被災した農地で、被災時から現地を確認しています。地滑り区域内であるので、

県の担当課にも現地を確認いただき、地滑り対策事業での復旧を要請したところ、地滑りの兆候は認められず、豪雨による法面崩落と判断されました。

問 地滑りの規模はどのくらい大きいか。

総務課長 幅20m、高さ30mくらいです。

問 令和4年10月に村担当課と一緒に現地を確認していますが、当時より拡大し、見たところ幅30m高さ40mと拡大しています。地滑りの指定地内なので、県に再確認をしていただくようお願いいたします。

下流には源氏沢ため池があり、土砂の流入により機能低下が心配されます。今後の考えは。

村長 ため池の貯水機能が低下すると、越流による堤体決壊などが心配されるので、計画的な対策工事を実施していく必要があると考えます。



塩水坂地内地滑り現場

補正予算を可決 総額43億7,200万円に

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金2185万円、新型コロナウイルスワクチン
予防接種委託料1800万円、商品券配布事業費負担金2050万円などが可決されました。

令和4年
第5回
臨時会

10月20日開催

11月11日に 岡田孝一議員が議長に就任

加藤文明前議長の議長辞職願が議会に諮られ許可されました。議長が欠けたことに伴い議長選挙が議事日程に追加され、選挙(指名推薦)が行われ岡田孝一議員が11月11日に議長に当選しました。議員構成は下記のとおりです。

令和4年
第6回
臨時会

11月11日開催

議会構成が変わりました。よろしくお願ひいたします。

11月11日開催の第6回臨時会において、議会構成が新しくなりました。

◎議長／岡田孝一 ◎副議長／富樫義人

(令和5年1月10日現在)

区分	委員長	副委員長	委員	
議会運営委員会	小野 宏	阿部 光 樹	伊 藤 一	柿 崎 英 矢
総務文教常任委員会	伊 藤 一	阿部 光 樹	富 樫 義 人	—
産業建設常任委員会	柿 崎 英 矢	加 藤 政 一	小 野 宏	—
議会広報常任委員会	加 藤 政 一	阿部 光 樹	小 野 宏	柿 崎 英 矢

議会選出監査委員	加 藤 政 一	
最上広域市町村圏事務組合議会議員	岡 田 孝 一	伊 藤 一
最上地区広域連合議会議員	岡 田 孝 一	柿 崎 英 矢
戸沢村産業振興公社役員	富 樫 義 人	柿 崎 英 矢

議会中央要望会

11月21日、県選出国會議員（加藤鮎子衆議院議員、舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員）へ議会による要望会を行っております。



加藤鮎子衆議院議員を訪問

「廃校廃所施設等の解体経費に対する支援の拡充について」

戸沢村では、平成25年4月1日に村内小学校4校を1校に、中学校2校を統廃合しました。保育所は平成30年4月1日に4施設を1施設に統合しました。廃校、廃所となった施設は、地域の実情に合わせ、地域振興の観点からその有効活用が図られるよう現在検討を重ねているところですが、廃校、廃所となった施設の中には、老朽化し維持管理に多大な経費を必要とするものもあります。

解体経費の補助制度の創設や特別交付税算定に加える等の財政支援措置の拡充についての特段のご高配をお願い申し上げます。

生活支援策継続及び財政支援について

直近では国の財源措置により、村民税非課税世帯、収入が激減した個人事業主を対象に、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を1世帯あたり5万円支給する手続きを進めています。また、高齢者のみの低所得世帯等に対し、山形県と市町村が国の財源措置を活用し原油高騰対策特別支援事業を実施し、低所得世帯の負担軽減を図っています。

物価高騰の今後の推移に応じ、引き続きの支援について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

生産資材価格の高騰・食料安全保障対策にかかる要請について

多くの農業者が、生産コスト高騰分を農畜産物の販売価格へ転嫁できないため、離農者の増加や、後継者・新規就農者の確保が今以上に厳しくなる恐れがあります。

また、今の国際情勢を踏まえれば、今後十分に生産資材を調達できるかという不安も広がっており、食料安全保障の一翼を担う農業者の間において、営農意欲の減退が懸念されています。

つきましては、原油価格・生産資材等の物価高騰に対する農業関係予算について更なる予算を確保されるとともに、迅速に農業者に効果が表れるように簡便な手続きにより、食料安全保障対策を早期に実現されるようご要望申し上げます。

また、食料安全保障の強化に向け、激変する国際情勢下における営農環境への影響を注視し、持続可能な営農基盤を確保するための施策を構築されるとともに、国民の理解の醸成に向けた施策を講じられますよう、併せてご要望申し上げます。



舟山康江参議院議員を訪問



芳賀道也参議院議員を訪問

県議会議員要望活動

現在の状況



市ノ沢川(写真は改善前の状況。現在は改善されています。)



田沢川(測量が実施されました。)

令和4年5月20日に要望会を開催し、伊藤重成山形県議会議員、小松伸也山形県議会議員に県管理河川・県道等の実情をお伝えしました。

その後、老朽化し危険性が危惧されている田沢川の護岸については令和4年度に測量が実施されました。また、土砂が堆積し支障木が繁茂していた市ノ沢川は土砂が寄せられ、河川断面の狭小部が改善されました。今後とも伊藤重成山形県議会議員、小松伸也山形県議会議員と連携を図り、戸沢川の課題解消に努めます。

議会日誌(10月～12月)

11月1日	県及び市町村長・議長会議	10月4日	最上広域市町村圏事務組合議運
28日	最上地区広域連合10月定例会 第21回最上を拓く高規格道路建設促進合同大会	6日	村山・庄内・最上地方町村議会 議長合同研修会
27日	東北中央自動車道新庄・湯沢間建設促進フォーラム	7日	議会広報常任委員会
26～27日	令和4年度町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会	8日	戸沢村青少年健全育成村民フォーラム
26日	期成同盟会現地調査会	11日	最上広域市町村圏事務組合10月定例会
25日	舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会現地調査会	19日	最上地区広域連合議運・全協議員全員協議会
24日	令和4年度町村議会議員研修会	20日	第5回臨時会
21日	最上広域市町村圏事務組合例月監査	21日	最上地区広域連合議運・全協議員全員協議会
20日	例月出納検査	21～22日	中央要望会
12月1日	老人クラブ連合会歌謡曲を楽しむ会 そば焼酎本年産仕込みお披露目会	26日	最上地域ふるさと連合会総会
30日	議員全員協議会	28日	議会運営委員会
29日	例月出納検査	17日	戸沢村観光物産協会理事会
7日	議員全員協議会	10日	大衡村議会産業教育常任委員会 視察研修
23日	議会広報常任委員会	7日	議員全員協議会
16日	最上広域市町村圏事務組合 全協・議運	27日	最上地区広域連合12月定例会
15日	最上地区広域連合議運・全協臨時総会		
5日	最上地区広域連合議運・全協臨時総会		
7～9日	12月定例会		
15日	最上地区広域連合議運・全協臨時総会		
16日	最上広域市町村圏事務組合		
23日	議会広報常任委員会		
27日	最上地区広域連合12月定例会		

戸沢村建設職工組合

～明治43年設立、今年で113年を数えます～

戸沢村建設職工組合は、明治43年に組合員数10名程で戸沢村職工組合として設立しました。その後、戸沢村建設職工組合と改め、現在に至っています。戸沢村に居住し建設業に従事されている方で組織されています。現在の組合員数は47名。



土田 博幸 組合長

組合員の団結を図り共通の利益を統一する行動で郷土の発展を図っていきたくと思います。

下の写真は「とざわ旬の市 秋」出店の様子から



焼きそば、まな板、竹細工 販売



竹細工・包丁砥ぎ

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

3月15日(水)から22日(水)

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 72-2113にお問い合わせください。

◎お越しの際は検温・マスク着用等の感染症予防対策をお願いします。



表紙の言葉

毎年恒例の戸沢保育園の子どもたちによる「だんご木」作りが古く乙夜塾の皆様へ指導を受け12月26日に行なわれました。五穀豊穣・無病息災を願い、かつては小正月の行事として、各家庭で見ることができました。途絶えさせることなく、次の世代に引継いでほしい行事の一つです。子供達の元気な姿と戸沢村の発展を願うこの表紙としました。

編集後記

今冬の降雪は、昨年12月中旬の湿った大雪による倒木の影響で、停電と数箇所の村道等が通行止めになりました。しかし、1月に入り穏やかな天気が続いています。春の訪れは、まだまだ先ですが、大荒れしないで、春になるのを願っています。

議会広報常任委員会

委員長 加藤 政一